

鹿児島大学

奄美群島島めぐり講演会

第六回 In 瀬戸内町

「アマミノクロウサギを知ろう！

—野生動物と私たちの暮らし—

鈴木真理子（環境省 奄美野生生物保護センター）

奄美群島に生息する哺乳類は、すべて固有種や固有亜種と呼ばれる「ここにしかない」生物です。これまで調べられた研究や観察を参考に、アマミノクロウサギの生態をご紹介します。また、アマミノクロウサギを例に野生動物と私たちの間にどのような問題があるのかをご紹介します、その解決策についてともに考える場にできればと思います。

「世界遺産からヘリテージ・ツーリズムへ

観光・経済」

萩野 誠（鹿児島大学 法文学部）

奄美大島は世界自然遺産によるエコツーリズムで沸騰しているようにみえます。観光業はリスクがともなうものですが、ヘリテージ・ツーリズムには、リスクを軽減する方が多々あります。この手法を講義することで、瀬戸内町が奄美群島の観光拠点となることを示したいと思います。

2019年11月16日(土)

13:30-16:00

瀬戸内町立図書館・郷土館

プログラム

13:30～講演①（鈴木真理子）

14:30～講演②（萩野 誠）

15:30～総合討論「観光と自然」

問い合わせ先：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室

（電話）0997-69-4852（E-mail）：amamist@cpi.kagoshima-u.ac.jp

主催：鹿児島大学「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」プロジェクト

共催：奄美群島広域事務組合 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

後援：奄美自然体験活動推進協議会 瀬戸内町

入場無料
登録不要

詳しくは

